

「Scene 北海道特別企画」 北魅力発信人①

フォトグラフィアーシーン

「Scene 北海道」の誌面を彩る
魅力や想いを撮った写真の数々。
いつも素晴らしい作品を届けてくださる
投稿者様の「想い」や「こだわり」をご紹介します。



「こだわりを持って写真と向き合う」

日野 透 (札幌市)



市場の刻 (小樽市)

正直に吐露すれば、私にとって写真とは感性(＝直感)であると感じています。心が動かなければ、それは興味の対象とは違うものと思ひ、参考にする事ができません。写真に対して私は極めて狭隘(せうがい)な人間ですが、そのことを悔やむ前に、それ以上に私の心を躍らされる作品が世間には沢山あり、こういう写真をいつかは撮りたいと思う場面に常に出くわすので、余り気にはならないのです。

自分の写真に対するポリシーがあるとすれば、それは「絵葉書」みたいな絵は撮らない、という気構えでしょうか。土産屋で売られる絵葉書は、何か違和感を覚えます。万人受けが没個性と同義なら、これは何とも避けたいと思うのです。皆さんはどうお感じになるでしょうか？

一方、写真は作品(＝結果)が全てであるとは思いますが、機材へのこだわりも大切にしています。いつも最新のメカで被写体と常に対峙したいと思ひます。このテクノロジー全盛の時代に、最新機で臨むことの快感は私には堪えられない。ある日、サツクスプレーヤー渡辺貞夫さんの楽器がいつも新しいこ



秋日の支笏湖

とに気づいて、私はとても嬉しくなったのでした。最後に、私がお気に入りの写真家をご紹介します。一方で、某カメラメーカーさんのホームページにて幸運にも私の作品の講評をしていただいた事があります。ネットで検索すると、氏の「雪道を行く」という代表作がご覧になれると思ひますが、この作品を見たときの印象は強烈でした。なんと雄弁で臨場感に満ちた一枚なのでしょう！技術以前にこういう写真を撮れるようになりたい(一生無理!)、そういう想いを抱かせる、私にとって稀有な写真家です。生意気な事を書かせて頂きました。失笑まじりの読後感になれば、寧ろ救われます。



無機質な夜 (室蘭市)

魅力発信人 一問一答

Q 写真、カメラとの出会い、また始めたきっかけ、カメラ歴は？
A 昔、祖父がドイツ製のカメラを持っていて、自宅には暗室もありました。この時からぼんやりとカメラとの出会いはあったのかも知れません。個人的にはミノルタが世界初のAFを搭載した「α」を手に入れてからですので、キャリアだけは長いです。

Q カメラをやっている良かった事、一番感動した事は？
A 写真が生活の一部になったことですね。今度の日曜日は何処へ撮影に行くか、と妻と会話する時間もまた楽しいです。撮影は小旅行も兼ねることがありますので。

Q 得意な被写体は？また、撮影でのワンポイントがあれば教えてください。
A 得意な被写体はありませんが、「なんか良いんだよなあー…」と思ふものは被写体に問わずシャッターを切るようになっています。Scene 北海道に投稿する事を励みにやっているので、勢い「風景」が多くなります。

Q 撮影時にいつも心掛けている、又は気を付けている事は？
A ①ピント ②構図と水平の確保 ③好みの露出(適正露出に非ず) ④光の状態

Q あなたにとって写真を撮る時のポイントは？
A 心に訴える作品は、じっくり見て脳裏に焼き付け、同様なシチュエーションに出くわした際は、フラッシュバックして自分の作品にも取り入れようと思ふ。(ただ、今迄上手くいったためしはないですが…笑)

Q あなたにとって、カメラや写真の魅力とは？
A 自己表現のツール。私は自己顕示欲の塊のような人間ですので…

Q Scene 北海道の読者の皆様へメッセージをお願いします。
A 私のようなアマチュアカメラマンが、毎回力作を投稿できます。撮影者により被写体に対峙するアプローチは違い、趣向も異なりますが、作品に注がれる熱い思いに温度差はありません。このひたむきな撮影者の努力を知る者として、この事実こそが私の次への投稿の大きなモチベーションとなっています。仲間の皆様へ感謝し、引き続きお互いを鼓舞していける存在でありたい、いつも思います。



橋のある風景 (札幌市 旭山記念公園)



水面氷 (札幌市 西岡公園)



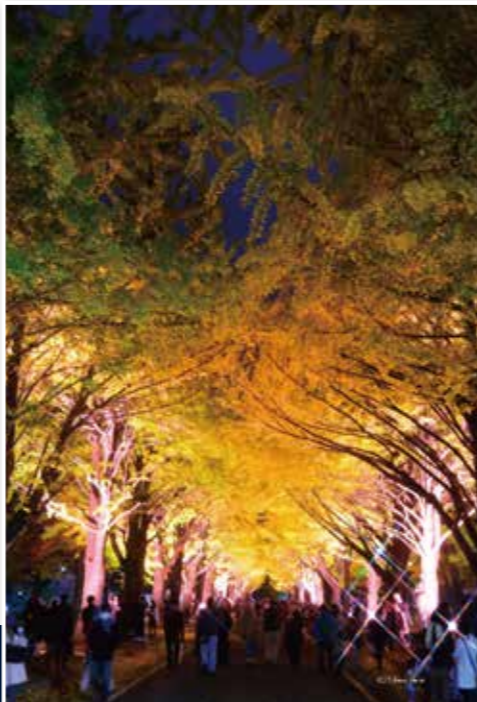
幻夜 (札幌市 大通公園)



哀しい椅子 (札幌市 真駒内公園)



赤レンガ夜景 (札幌市)



yellow fantasy (札幌市 北海道大学 銀杏並木)